

県連ニュース

2023年3月 NO.548号



『天狗岳から八ヶ岳連峰』

滋賀県勤労者山岳連盟

2023年3月号 目次

- ・リレーエッセイ 人間の欲や文明の利器は認めるけれど・・・ 田中武範

<案内>

3月5日 第47回定期総会案内

講習会「計画に生かす読図」(県連主催)

4月2日 近畿ブロック搬出技術講習会

近畿ブロック搬出技術講習会 事前申込書

2023年度初級登山教室実施要項

2023年度初級登山教室日程と申込書

<報告>

初級登山教室 雪山入門・大谷山

交流山行報告 愛宕山

<議事録>

第10回理事会(ZOOM併用)議事録

第2回代表者会議及び第11回理事会議事録

- ・ぐうたら会長のつばやき

- ・行事予定 3月～5月

表紙の写真 2022.11.27『天狗岳～八ヶ岳連峰』

撮影者 滋賀山友会 塚本正弘

人間の欲や文明の利器は認めるけど……

私は、“自然を破壊しないで欲しい”というメッセージを人よりは多く発している人間だと思うけれど、それはどんな意識に基づいて発しているのか考えてみた。

小さい頃から何にしても“ものや資源”は無限にあるわけではなく限りあるものだという意識は強かったと思う。マスコミの情報に影響された面もあるけど、私の小中学校ぐらいからものは使い捨てによって地球からものが無くなるのでは、地球がおかしくならないか、なんとなく案じていた。また、清少納言の“枕草子”の“春はあけぼの。……夏は夜。……、秋は夕暮れ。……、冬はつとめて。……”の情緒に浸ることもあった。

そのような世界観に気持ちよく浸っていて“エコ”な生活をしているみたいだけれど、自分が生きてきた過程では、山野を開発して作られたスキー場では何回も遊んだし、地球温暖化の大きな原因になると言われる飛行機にも海外も含めて十数回乗った。最近では、あまり遠乗はしなくなったけれど自動車にもお世話になってきた。人間は、文明の利器の活用によりその生活を向上させてきたので今更そのような生活を大転換して“エコ”な生活をせよといっても無理だろう。しかし、最近ではグローバルな経済体制の名のもと競争に勝ち抜くとの目的もちらつかせて、過度な技術開発・技術の導入をはかり続けていると思う。新幹線の数倍電力を消費するリニア新幹線。京都小浜ルート新幹線、北海道札幌までの新幹線延伸。電力の大量消費と環境も大きく壊すうえ、採算も危ぶまれている。

文明の利器や開発によって今の生活が成り立ち今後も便利に暮らしていけることは認めざるを得ないが、だからと言って、豊かな水源涵養機能や自然生態系を壊し、近年の異常気象で災害の誘発もより危惧せざるを得なくなったメガ風力、メガ太陽光発電所の建設はどのようなのかと思う。第一どれほど地球温暖化防止に貢献しているのかは疑問が残る。

そもそも電力を大量に消費するリニア新幹線や宇宙開発競争、冬でも石油を大量に使う温室野菜など大量に化石燃料を消費することが前提になっている経済社会や生活のスタイルを見直さないと地球温暖化防止など不可能だと思う。このことは、私が少し関わっている地球温暖化防止活動推進センターの全国組織の理事の方も温暖化を防止するには“人間生活の多少の忍従”みたいなことを話されていた。つまり再エネや電気自動車の新技術だけでは到底地球温暖化防止など達成出来る訳がないということである。日本のみならずアジアや世界の経済活動を見渡してみると、とてもそんな風にはなってなく、ますます温室効果ガスを発生させてしまうような経済活動が継続しているのに、地球温暖化防止などかなりしんどいと言わざるを得ない。

将来、温暖化による地球の異変はますます続く一方、日本の山野は再エネやリニアによってたずたになっっていることを心配している。

理事 田中 武範

案 内

第 47 回定期総会開催の案内

総会は、会員が代議員として参加できる唯一の議決機関です。みなさまの活発な意見で、これからの滋賀労山の発展にお力をお貸してください。従来の活動にとらわれず、創意を發揮して新たなチャレンジを試み、登山文化の継承と発展、仲間を増やす活動を優先して進める決意です。

下記日程で開催します。つきましては、ご多忙とは存じますが、感染予防対策の上(マスク着用)、御出席をお願いいたします。

記

滋賀県勤労者山岳連盟 第 47 回定期総会

- ・日時 2023 年 3 月 5 日(日)午後1時 30 分～午後 3 時 30 分(予定)
- ・会場 大津市ふれあいプラザホール 5 階 大会議室
(大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 077-527-8351)
- ・議題 2022 年度活動報告、2023 年度活動方針(案)
2022 年度会計決算報告、同監査報告、2023 年度会計予算(案)

所属会に案内状と委任状をメールで送信します。

委任状出席の返信先 宮内 宛 070-9002-3325

m-miyauchi@are.eonet.ne.jp までお願いします。

会議を短時間で終了するため、事前に議案書・資料集を PDF 配信いたします。出席の方には、当日印刷してお渡しします。会議の進め方としては、議案書(事業報告・計画案)・決算報告・予算案の説明は致しません。質疑応答の時間をできるだけ確保するようにしています。短縮を図る進行を予定しています。



滋賀県勤労者山岳連盟 主催 第4回(2023年)

講習会 「計画に生かす読図」

講師 山の会オフトレイル 代表 信森 徹

山は、最後まで無理なく安全に歩いて戻って来られなくてはなりません、
そのための計画を立てるのに地形図が役立ちます。
実際に地形図を使って、山行のシミュレーションをしてみましょう。
座学と実技を組み合わせた講習会です。

【座学】

日時 2023年3月5日(日)10時～12時 受付9時30分～

会場 大津ふれあいプラザ 5階 大会議室

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 077-527-8351

参加費 500円

※ 座学・実技とも必ずベースプレートコンパスをご持参ください。

【実技】

日時 3月18日(土)または3月19日(日)8時 JR膳所駅 集合 (京津線出口側)

※ 両日とも参加可能な方は、こちらでいずれかの日を指定させていただきます。

予備日 3/21(火・祝)

雨天中止

実施場所 「音羽山」

参加費 1000円

申し込み(問い合わせ) 滋賀県勤労者山岳連盟 mail:shigarosan@gmail.com

または 070-9002-3325(宮内)

定員 30名 (定員になり次第 締め切り)

QRコードから申し込み出来ます。



第42回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

初級コンパニオンレスキュー班【事前申し込み制】

- 日時 2023年4月2日(日) 8:30 受付開始 9:00~15:00 雨天決行
- 受付実施場所 大文字山安祥寺林道入り口 (JR山科駅から徒歩30分 地図参照)
- 持ち物 山行時の装備一式、及び、ヘルメット、緊急時に備えて常々携行しているスリング、カラビナ、細引き
- 内容 細引きの結び方、簡易ハーネスの作り方、カラビナスルー、事故者の所まで行くために細引きで丸結びを使った斜面の降り方登り方の技術習得
- 対象者 ハイキングの山行リーダー等の方で学んだスキュー技術を会の中で伝達する意欲のある方。受講者最大60名で各府県連10名を限度とします。(10名に満たない府県連があれば60名以内で10名以上の府県連があっても良い)
- 参加費 1000円
- 前夜テント泊は不可です。講習会実施場所付近は駐車不能です。山科駅周辺のビジネスホテル、コインパーキングをご利用下さい。
- 今回使用する講習会テキストは現地でお渡しします。

各コース共通事項

- 参加条件：労山基金、又は、それに準じる山岳保険加入者
- 雨天決行です。前日の夜の21時時点で警報発令時は中止します。
- 新型コロナウイルスの感染拡大の状況を判断し中止と判断する場合があります。
- 講習中の事故等に対しては自己責任でお願いいたします。
- 各コースともヘルメットのない方は参加できません。

申し込み方法

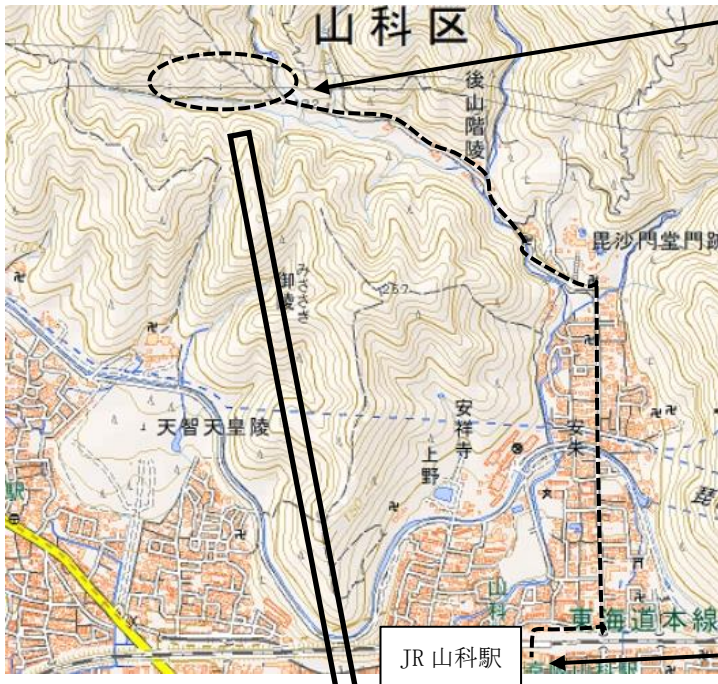
申し込み締切日：3月5日(日曜日) 先着順で募集人数に達した場合は締め切りさせていただきます。

問合せ先・メール送信先

滋賀県連 窓口 4/2 搬出技術宛 shigarosan@gmail.com

岩搬出、岩のセルフレスキューコース【事前申し込み制】 2月号に掲載済

初級コンパニオンレスキュー班 受付場所、講習会場所

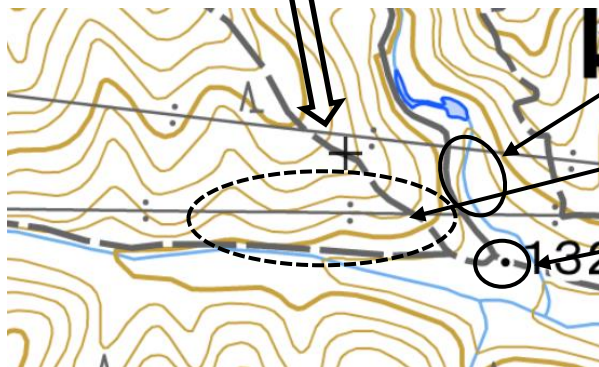


受付、講習会場所：安祥寺林道入り口
山科駅から歩いて30分

車で来られる場合は山科駅周辺のコインパーキングに停めて歩いて受け付け場所まで来て下さい。

講習会場所にトイレはありません。ナチュラルをご承知おき下さい。

開札口を出て東側のトンネル通路を通して駅の裏口に出て下さい



集会場所

搬出講習会場所

受け付け場所

2023年度 第42回近畿ブロック搬出技術講習会 事前申込書

★事前申込書は下記に送って下さい。事前申込書受信で申込完了となります。

★受付の混雑を避けるために講習会受付時に申込書のコピーを渡して下さい。

該当箇所にチェックを入れて下さい。

ふりがな 氏名	
所属山岳会名	
参加種別	<input type="checkbox"/> 一般で参加 <input type="checkbox"/> 講師で参加 <input type="checkbox"/> スタッフで参加
申し込み コース	<input type="checkbox"/> 岩初級班 定員10名 <input type="checkbox"/> 岩経験者班 定員10名 <input type="checkbox"/> 岩セルフレスキュー班 定員 5名 <input type="checkbox"/> 尾根班 定員10名 <input type="checkbox"/> 初級コンパニオンレスキュー班 各府県定員10名 初級コンパニオンレスキュー班の講習は班別で行いますので下記も選んで下さい。 <input type="checkbox"/> 8の字結び(エイトノット、フィギアエイト・オン・ア・バイト)は知らない。作れない。多分作れない。 <input type="checkbox"/> 8の字結びは作れる。簡易ハーネスは作れない。多分作れない。 <input type="checkbox"/> 8の字結びも簡易ハーネスも作れる。
参加経験	<input type="checkbox"/> ある(回目) <input type="checkbox"/> 今回が初めて
メモ	

講習会参加費は1000円です。

岩尾根セルフ班は前回の講習会テキストを持参して下さい。当日、必要な方は500円で販売します。2019年度分をお持ちの方は訂正箇所のコピーを無料で受付でお渡しします。

初級コンパニオンレスキュー班のテキストは受け付け時に無料でお渡しします。従来の講習会テキストは不要です。

メール送信先 滋賀労山 窓口 4/2搬出技術宛 shigarosan@gmail.com

受付時に上記のコピーを渡して下さい。

-----切り取り線-----

緊急時に備えて留守宅を記入して下さい。講習会終了まで各府県連担当者とへ府県連講習会参加責任者が保管します。

個人情報保護のため講習会終了後、コピーと電子データを破棄します。

留守宅	氏名		続柄		携帯番号	
-----	----	--	----	--	------	--

2023年度 初級登山教室実施要項

1. 開催の目的

クライミング・バリエーション登山への導入を中心として、安全に登山を楽しむために必要な知識と基本技術を習得する。

2. 実施内容

県内の山域を中心に4月から10月にかけて(座学7回、実技10回程度)実施予定。

1) 縦走・バリエーションルート

座学・実技(計画書の作成、読図、テント・ツエルト設営等)

2) マルチピッチクライミング・沢登り入門

座学・実技(装備、ロープワーク、登攀・確保技術等)

3. 実施主

県連教育遭対部 講師・スタッフは各会および外部講師から人選する。講師・スタッフ(予定)

谷内(オフトレイル 主任講師)川口・塚本・長谷川(山友)・吉田(岳友)・川嶋(比良)・信森(オフトレイル)他 交渉中

4. 実施計画(日時・場所等詳細は具体的な内容が決まり次第お知らせします。)

4月 オリエンテーション(座学) クライミング(座学1、実技1・2(金毘羅))

5月 バリエーションルート・読図(座学1、実技1・2(比良または鈴鹿))

6月 クライミング(座学2) 沢登り(座学)

7月 沢登り(実技1(比良))

8月 クライミング(座学3) 沢登り(実技2(奥飛騨 沢水谷 前夜泊))

9月 テント泊(座学)クライミング(実技3)(金毘羅)

10月 クライミング(実技4)(しし岩) テント泊(実技)(比良または鈴鹿)

クライミング(実技5)(鈴鹿 御在所岳 テントまたは山小屋泊)

5. 参加対象者

一般ハイキングの経験および基礎的な山歩きの知識を有し、登山技術・知識の向上に意欲がある労山会員および一般登山者(但し、申し込み後、労山会員に所属すること)

初心者・新入会員歓迎します。

但し、遭難対策基金に5口または同等の山岳保険に加入のこと。募集定員5名程度

6. 受講料 25,000円 ※実技・座学を通じて80%以上出席者は5,000円を補助予定。

7. 申込 県連教育遭対部まで、メールで受講申込をしてください。

アドレス shigarosan@gmail.com 教育遭対部 宛

締切 3月31日 受講申込書をメール添付でお願いします。

締め切り日までに指定のゆうちょ口座に受講料25,000円を入金してください。

ゆうちょ口座(店名418)普通 0239956 名義 滋賀県勤労者山岳連盟

2023 年度 初級登山教室日程

- 4 月 5 日(水) 座学 オリエンテーション・登山の基礎知識
初級登山教室に必要な装備等
 - 4 月 12 日(水) 座学 クライミング座学 1
マルチピッチの概念・落下係数・ロープワークの基礎
 - 4 月 16 日(日) 実技 クライミング実技 1
平地でのロープワーク・装備の動作原理・セッティング・セルフビレイ
 - 4 月 23 日(日) 実技 クライミング実技 2
京都北山 金毘羅山(シングルピッチ)
 - 5 月 10 日(水) 座学 バリエーションルート・読図座学
机上登山
 - 5 月 14 日(日) 実技 バリエーションルート・読図実技 1
地図読み山行 比良または鈴鹿山系
 - 5 月 21 日(日) 実技 バリエーションルート・読図実技 2
ツェルト設営 比良または鈴鹿山系
 - 6 月 14 日(水) 座学 クライミング座学 2
確保システム・ビレイ・支点
 - 6 月 28 日(水) 座学 沢登り座学
装備、遡行図等
 - 7 月 23 日(日) 実技 沢登り実技 1
比良 白滝谷またはヘク谷
 - 8 月 23 日(水) 座学 クライミング座学 3
マルチピッチシステム
 - 8 月 26 日(土) 実技 沢登り実技 2
～27 日(日) 奥飛騨 沢水谷
 - 9 月 10 日(日) 実技 クライミング実技 3
金毘羅山(シングルロープ)
 - 9 月 13 日(水) 座学 テント泊座学
計画・テント生活
 - 10 月 1 日(日) 実技 クライミング実技 4
北小松しし岩(ダブルロープ)
 - 10 月 14 日(土) 実技 テント泊実技
～15 日(日) テント泊縦走 比良または鈴鹿山系
 - 10 月 28 日(土) 実技 クライミング実技 5
～29 日(日) 鈴鹿 御在所岳
- ※以上の日程および内容は講師・参加者の都合や天候その他の事情により変更することがあります。

***** 【受講申込書】 *****

私は初級登山教室の開催趣旨を理解し、申し込みます。

氏名	男・女	生年月日	血液型	基金(保険)	加入 入口
		年 月 日	型		
住所〒					
連絡先(携帯電話等)					
緊急連絡先		氏名		(本人との関係)	
加入山岳会		登山教室受講について要望等			

<初級登山教室山行報告>

雪山入門『大谷山』

日程： 2023年1月14日（土）

講師及びスタッフ：T内（オフトレイル）、N森（オフトレイル）、K口（滋賀山友会）

受講生：T本（滋賀山友会）、S口（滋賀山友会）、S水（比良雪稜会）、N村（比良雪稜会）、S藤（比良雪稜会）

行程： マキノピクランド駐車場集合 10：00～登山口 10：10～標高 680m 地点 12：50 昼食～
下山開始 13：30～14：30 下山終了=マキノ高原温泉白谷荘で修了式

講習の内容：雪山登山

当日の天気予報は雨天で午後から次第に雨が上がってくる予報であった。午後からの天気回復を期して出発時間を遅めにして、小雨の中でのスタートとなった。

電気柵の入口がある登山口からはいきなりの急登で、地面は地肌むき出しで雪はない。標高 320m ほどのところで雪が現れだした。受講生 5 人は、先頭を 20 分交代で、現在地を地図で確認しながら進んでいった。雪は次第に深くなり、登山靴で歩くとズボッと雪面下に落ち込み、一步一步大きく足をあげないと前へ進めない。雪があると無いとでは進み方が雲泥の差だ。すぐに息もあがり汗びっしょりになる。標識やテープももちろん踏み跡も雪に埋もれているところが多く、ルートも見失いがちになるので、周りの景色を注意深く見ながら進んでいった。予定よりずっと時間がかかり、当初の予定の標高 704 地点石庭下山口…大谷山…寒風…西山林道出合…マキノ高原温泉というルートを大きく変更し、標高 680m 地点からのピストンにルート変更せざるを得なかった。

下山後はマキノ高原温泉白谷荘で初級登山教室の 2022 年度の修了式が執り行われた。

記録：S藤

【一口感想】

「出発時は小雨模様でしたが登山中はほとんど雨に降られることは無く、最終到達した標高 700m 弱の地点では約 60 cm の積雪がありました。春のような温かさで琵琶湖も霞んでいましたが無事、最終の実技が実施できてほっとしています。雪山は通常の無雪期より時間を要し、雪の状態も様々です。雪の積もり具合、地形や傾斜、過去から当日までの天気コンディションや積雪の安定度が左右されます。雪山も奥が深いので雪崩のメカニズムを学習し、道具の使い方に習熟してください。」

全般を通じての感想です。

4月から1月まで1年近くの初級登山教室を無事終わりました。実技は全て実施し、事故無く終われたことに感謝です。試行錯誤の連続でしたが受講生の皆さんは得るものがあったと思います。

私を含めたスタッフも色々と勉強になり、改善すべき点多々あったと考えています。

また、初級登山教室はこの4月からスタートします。今年は内容を絞って、実技は少しステップアップして実施したいと思っています。会員の皆さんの意欲的な受講を求めます。また、手伝っていただけるスタッフを募集します。実地でアドバイスをすることで自分の力量の確認と向上につながります。よろしくお祈いします。(T内)

雪山のリスクは、場所ではなく条件によって決まります。たとえば、雪崩はこれまで発生したことのない場所だから安心というわけではなく、気温・地形・風・雪の質等の条件が揃えば、どこでも発

生する可能性があります。もし何事もなく帰って来られたとしても、たまたま運がよかっただけ、ということもあります。ですから、幅広い知識と十分な準備を持って、山に入っていただきたいと思います。

スタッフを引き受けるということは、受講生のみなさんに怪我をさせるわけにはいかないのです、かなりの緊張を伴い、1年ともなれば思った以上の負担になります。それでも最後まで続けてこられたのは、みなさんの熱心な受講姿勢のお陰だと思っています。みなさん自身も、最初に比べれば格段に進歩されたと思います。また、僕自身は「教える」というほど特別な技術は持っていませんが、それでも何かを伝えるということは、1点の曖昧さもない完全な知識を持っていなければなりません。間違ったことは1つも言わなかったと思いますが、その点でも自分自身の知識を再確認するよい機会になりました。今後は、みなさんが、ご自身で1から計画を立て、最初から最後まで全て自分の責任で山に登られるようになることを期待しています。 (N 森)

一年間皆様お疲れ様でした。受講生の皆さんは不安な気持ちで、学科・実技と取り組まれたと思いますが、スタッフとして参加させて頂いた私も不安な所が有りましたし、勉強になる事も多々ありました。実技に関して一度も中止は有りませんでした、天候が良くない回もあり100%楽しめなかった事も有りました。そんな中でも何か一つでも、やってみようかな、興味があるなど言うのが有れば深掘して挑戦していただきたいと思います。今回締めめの雪山講習でしたが、まだまだシーズンですので、トライして楽しまれてください。夏山に関しても、どこかの山で出会えることを楽しみにしています。 (K 口)

一月にしては珍しい暖かさと雨天の中、大谷山の雪山山行は、濡れた落ち葉とぬかるんだ登山道、ズボズボと踏み抜く腐った雪であまり経験したことのない悪条件の山行になりました。

しかし、歩き始めてしばらくすると雨も上がり、それはそれで残雪期のような風情で、柔らかい雪に足を取られながらプチラッセルのような体験もでき、標高が上がってくると眼下に雲海を観ることができたりと楽しさも味わうことができました。山頂に到達はできなかったけど、昼食時に雪崩のピットチェックの方法(コンプレッション)を教えてもらい、以前教わった「シャベルずり法」と違うやり方も参考になりました。

今年度初級登山教室の座学・実技に参加して基礎的な事をいろいろと教えていただき、山行の時に初心に立ち戻る貴重な経験ができたと思っています。講師・スタッフの皆さん一年間どうもありがとうございました。 (T 本)

雪山=遭難、ラッセル、しんどい・・・のイメージ。朝からの小雨と相まって、気持ちはどんより。普段より荷物も多く、装備もえらく大層だ。さらに天候や雪の状態は注意深く察知し、道具装着の判断も重要となる。しかし、登るうちに雪の感覚や冬ならではの山の凛とした気配が心地よくなった。無積雪時よりも危険が増し、体力の消耗も激しいが、雪山には雪山にしかない面白さがあることに少しだけ気づけたことは幸せだ。雪山初トライの未熟な私を導いてくださり感謝です。さて、1年間の登山教室が終わってしまいました。振り返れば多くのことを教えていただき、体験させてもらいました。どれも楽しかったのですが残念なことに、横文字の道具の名前や地図読みはしばらくやらないだけですでに怪しい。繰り返し体得していくことで、やっと自分のものになるということですね。自分のことで精いっぱいでしたが、指導者の方々が常に私たちの安全に気を配られていたか今更ながら気づき、感謝の気持

ちでいっぱいです。年を重ねて普通いろんなことをしまっていく時期に、「岩」「川」「雪」・・・どんどん新しい扉を開いてしまいました。でも皆さんにお出会いできて、何歳からでもでもワクワクしているかと思えました。またご一緒していただける機会がありますように。本当にありがとうございます。（S口）

最後の実技、天候は良くなかったが、時間を遅らせるなど工夫をしてくださって実施することができた。順にリーダーとして前を歩くことになったが、水分を含んだ雪で先頭を歩くとズボズボとはまってしまう、トレースもないのでなかなか進むことができなかった。

今回はアイゼンやわかんなどを使うことはなかったが、冬山は装備も多く重たくなり行動時間がかかるため、より体力が必要になる。ふかふかの雪、きらきら光る樹氷…雪山はきれいで楽しいがリスクも高くなる。安易に行動するのではなく、しっかりした指導を受け十分な準備や情報を得、無理のない柔軟な計画が求められると思う。

一年間、座学で知識を得、実技講習でいろいろな経験をすることができた。なかなか覚えられず技術はすぐには身に付かないが、常に危険が伴うという事を頭に置き、安全に山が楽しめるようにしたいと思う。一年間、大変お世話になりありがとうございました。（S水）

受講生が先頭を順番に歩いた。すぼすぼ沈んでしまい、いつも以上体力を使い、踏み跡のない雪道の歩きづらさがよく分かった。また、下ばかり見て歩いたので道を間違えた。周りをしっかり見て歩かないといけないと思った。

4月から1月にかけて登山技術と知識を習い、いろんな経験をさせていただきました。ありがとうございました。学んだことを活かして安全な登山を続けていきたいと思えます。（N村）

雨天という悪条件のなかでの講習となりましたが、雪中行動の困難さ、厳しさを体験させられた山行となりました。先頭を受講生が順番に任せられ、自分の番のたった20分ほどの歩行が、大変困難で気持ちばかりが焦りました。先頭の大変さを身をもって知る機会となりました。

私は中途受講でしたので、他の受講生の方ほど頑張っていないのですが、それでも、沢登り、クライミング体験と今までできなかった体験を沢山させてもらいました。もうこれ以上は無理だと思かけた時に叱咤激励し、手取り足取り、行く方向を示して貰えたからこそ、やりきることが出来ました。その時々目いっぱい頑張れたのは講師さん、スタッフさんあってこそ。滅多にない素晴らしい体験でした。（S藤）



〈 交流山行報告 〉

愛宕山（924m）

実施日 2023年1月22日（日）晴れ

参加者 大野 長谷川 柴田（英）柴田（久）嶋本 目片 高田 高山（雅）高山（千）濱本
ちごゆり山歩会10名、その他0名

交流山行ということで期待していましたが、連盟内の他会からの参加者は「0」で身内だけのハイキングとなりました。

JR嵯峨嵐山駅集合、9:01 野々宮バス停発の京都バスで清滝に向かいます。

凍てついた表参道を大勢のグループとあいさつを交わしながら山頂を目指しました。

途中、桂川の流れ、京都盆地や亀岡が眼下に見渡せ、頭上は真っ青な蒼穹・・・

水尾別れを過ぎると積雪が増してきて、すれ違う登山者の足元にはチェーンスパイクが装着されていましたが、杉の落ち葉を踏んでゆけばスリップの心配はないのでそのまま登ります。愛宕神社にはほぼコースタイムの3時間で到着、参拝、昼食、記念撮影を済ませ、13時30分頃下山を開始。水尾別れから少し下ったところで表参道から分かれて、荒神峠を目指します。杉林の鬱蒼とした急な下りを落ち葉や木の根に足を取られながら荒神峠に到着、小休止の後、ミツバツツジの点在する明るく気持ちのよい尾根道を進む。府道50号線への最後の下りは岩がむき出しになった急坂を慎重に降りる。

JR保津峡駅に16時10分頃に到着、全行程10.7km、6時間強の山旅でした。

（記 濱本）



愛宕神社に至る雪の残る石段で集合写真。

ちごゆり山歩会の旗のキャラクターは今年の新年山行に相応しい？

2022年度 第10回 理事会(ZOOM併用) 議事録

日時 2023年2月1日(水) PM7:00~8:00 明日都浜大津1F フリースペース

□出席者 友永・藤野・田中利・宮内

□ZOOM参加 上澤・山元

□欠席 村田・田中武範・川口・川嶋・菅

議題

- 3/5 第47回定期総会 議案書 活動報告・活動計画案について検討 文言訂正のみ
 - 3/5 講習会(総会当日午前中) (HPアップ・滋賀民報に掲載依頼 2/3 済)
座学と実技セットの講習会「計画に生かす読図」 (講師・OT代表 信森 徹)
実技は、3/18.19の2日間予定(参加人数による)
実技スタッフ 2022年度の初級登山教室受講生に協力依頼、その他
登山会員の申し込みは、実技の参加費1000円のみ徴収する。
 - 継続して「2023年度 初級登山教室を実施する
2/15 内容の詰め作業で確定。
今年度スタッフ協力 岳友会・吉田正幸さん
 - 財政部から 会計監査 2/10 後に 予算案について相談して代表者会議で説明する。
 - 今後の理事会予定等
2月10日 会計監査(シャクナゲ・我妻、ちごゆり・濱本) PM7時~明日都浜大津
2月15日 第2回代表者会議 議案書案・決算・予算案を検討 明日都浜大津 大会議室
3月5日 第47回定期総会 大津市ふれあいプラザ 午後~
同日 4回目 座学と実技セットの講習会「計画に生かす読図」 午前中
- 次回 2月15日 水曜日 午後7時~8時50分 明日都浜大津 大会議室
第2回代表者会議と第11回理事会 を開催。

2022年度 第2回 代表者会議 第11回理事会 議事録

日時 2023年2月15日(水) PM7:00~8:50 明日都浜大津1F 大会議室

□代表者 山友会・豊田 雪稜会・西村 岳友会・重井 OT・信森

□欠席 シャクナケ・太田(連絡有、当日JRトラブルのため) ちごゆり・柴田

□理事出席者 友永・川口・宮内・藤野・田中利・川嶋・山元

□欠席 村田・上澤・菅・田中武

議題

1. 3/5 第47回定期総会 議案書 活動報告・活動計画案について

2. 決算報告・予算案について

3. 申し入れ1件 岳友会 2023年清掃登山の山城変更 多賀町・高室山⇒湖南省市・岩根山
理由 遠方であることと、野洲を地元としたら地元の方の参加がなく、参加者から会員への勧誘につながらない事

県連からの提案 多賀町から協力金1万円を継続するために、県連担当で、交流山行として6/4当日と重ならないように前週に設定して実施を検討する方向で調整する。

続いて

第11回 理事会

1.各部からの報告

機関紙部・・・2/15〆切 ○リレーエッセイ・写真(山友会)

○その他 ・総会案内

・4/2 近畿ブロック搬出講習会「初級コンパニオンレスキュー」再度掲載

・初級登山教室の実施要項

・1/22 交流山行の原稿入稿済み(ちごゆり)

・ぐうたら会長のつぶやき

・行事予定表・2/1 議事録・2/15 代表者会議・理事会議事録

自然保護部・・・

組織部・・・ 全国連盟に 2022年11月末の会員数 会員数166名 労山基金加入数142名

○1月末の会員数

合計人数 比較 ↓	山友会		岳友会		雪稜会		ちごゆり		オフトレイル		シャクナゲ		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
	30	37	18	11	24	18	7	14	5	2	3	2	87	84
1月/12月	67	66	29	29	42	43	21	18	7	8	5	5	171	169
		1		0		-1		3		-1		0		2

合計 171/169 (2023.1/2022.12)

財政部・・・ 教育遭対部・・・

2.今後の理事会予定

3月5日 第47回定期総会 大津市ふれあいプラザ 午後～

同日 4回目 座学と実技セットの講習会「計画に生かす読図」 午前中

3.全国連盟の会議予定等の連絡事項

○2023年2月18日～19日 第35期第1回評議会（友永会長出席予定）

○4/2 近畿ブロック搬出技術講習会 京都・滋賀担当

4.その他 連絡・報告

★理事交代の報告 2/15 現在 岳友会・村田理事(兼副会長) 体調不良のため退任

後任・田中隆男

山友会・上澤健一 退任

後任・田中政行

★ちごゆり山歩会さんが1月の会員数21名になりました。代議員数3名から4名に変更口頭ですが、理事選出のお願いをしましたが、難しいようです。

★代議員氏名 山友会 5名 豊田永浩・金原敏幸・北川享子・田中政行(新理事)・沼 裕

岳友会 4名 重井美佐男・北村昌文・吉田正幸・田中隆男(新理事)

シャクナゲ 2名 太田 理・我妻滋功

オフトレイル 2名 信森徹・谷内資康

雪稜会 4名 西村高行・中野隆光・其阿弥道子・小林智子

ちごゆり 4名 柴田英男・濱本健二・高山雅史・高山智恵子

★ 提案 来年度の理事会は、完全リモート会議で日程調整する。

水曜日 午後8時～9時30分程度

ただし代表者会議(年2回 11月2月)は、出席会議とする。

3月理事会は総会当日顔合わせ程度の会議しかできないので、

3/29 水曜 午後7時～9時 出席理事会(zoom 併用)を開催する。

年間スケジュール等について確認会議を開く。

次回3月5日は、第47回定期総会 午後1時30分～

午前中 講習会「計画に生かす読図」 総会当日の役割分担等別途連絡

ぐうたら会長のつぶやき

先月のつぶやきで、大切な滋賀の山が抜けているのに気が付かれましたか？ それは日付の山で1214mの武奈ヶ岳です。ボケて忘れていた訳ではありませんヨ。念のため・・・今年12月14日に登ってみてはいかがですか？

先日新聞に「母との往復書簡」というテーマの日本一短い手紙のコンクールの記事が掲載されていました。

「僕は、幸せだよ。『お母さんがこんなふうになんでごめんね』と言うのは、やめてね。」と14歳の男の子はお母さんに書きました。お母さんは「障害があっても、それを受けとめて前向きに、素直に育ててくれて、母は救われます」と返事を書きました。

下半身に障害を持って生まれた子供に、何かあるたびにごめんねと、お母さんは口癖のように言っていたそうです。それは障害を持った子供として産んだ贖罪の気持ちと愛情表現の一部であったのかも知れませんが、子どもにとってそれは少し違和感のある事だったのです。自分が自分らしくあることや、そんな自分を産んだことを、否定してほしくなかったのです。

お母さんは、それを読んで境遇を嘆くことより、持てる力を伸ばすために、応援してネと、言われていると思ったそうです。普段から、不満をこぼさず、ふさぎ込まず、家族と運動やカラオケを楽しむ、彼のおおらかさをありがたく思ったそうです。そして感謝の気持ちを込めて返事を書いたのです。そんなお母さんだからこそ、素直で前向きに子供に育ったんでしょうネ。

彼は好きなギターの特訓をして、30歳を過ぎた今、バンドを組んでステージに立ち演奏活動を続けています。2018年には「たんなん夢レディオ」の大会で入賞するまでになったのです。「出来たこと出来なかったこと 今日足跡が夢を繋ぐ 涙も明日へのお土産大切にしよう」という歌詞の「明日へのお土産」という曲をあちこちのステージで歌っています。杖をギターに持ち替えて、マイクを口元に、ありのままの姿で伝えようとしています。「誰でも同じステージに立てる。やりたいことを見つけたら、物おじせずに踏み出そう」。自分の歌が誰かの背中をそっと押し、心の壁を越えるきっかけになればと願っています。

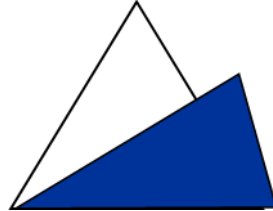
以前水泳の一ノ瀬さんと言う女性が、腕が短い体で生まれた事をどう思うか聞かれて、生まれつき短かったのだから何の違和感もないと答えていたように記憶しています。人と比較するのではなく、自分は自分らしく自分に出来る事を全力でやる。それをしっかりと自信を持ってやり切ったからこそ言える事だと思います。それはとても大切な事だと思います。

人はどうしても他人と比較しがちです。もちろん生きていく上で人と自分を比べる事も時に必要かもしれませんが、自分は自分という人間以外ではあり得ないのだから、何をするのか、何をしたいのか、他人まかせにするのではなく、自分で決めていかなければと思います。自分で決めた事なら、結果がどうであろうと、自分で責任をとらなければなりません。私たちは、結果が悪ければ他人に責任を押し付け勝ちです。障害を持った方のほうが、自分をしっかり持って、自分の意思で何かをしようとしているようです。健常者なんて呼ばれている私たちのほうがよっぽどいい加減な生き方をしているように思えます。反省しなければ・・・もう遅いか！！

行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
	5	第47回定期総会(大津ふれあいプラザ) 午前中 講習会「計画に生かす読図」	4	4	取立山	岳友
			4	4	福井鬼が岳	OT
			6	6	六甲山系七兵衛山	雪稜
	10-13	鍋倉山スキー・妙高ゲレンデスキー(スキーネット)	12	12	梅 お花見	ちご
3			12	12	明神岳	岳友
			19	19	例会「奈良・山の辺の道桜井～天理」	山友
	24-26	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)				
			25	25	定期総会	岳友
			26	26	京都北山 沢山	ちご
			26	26	ダイトレ縦走 紀見峠～金剛山	雪稜
			2	2	お花見 小関越え～逢坂山	ちご
	2	近畿ブロック搬出技術講習会	2	2	孫太尾根～藤原岳	岳友
			9	9	鈴鹿 霊仙山	雪稜
	5	初級登山教室オリエンテーション	9	9	第52回定期総会	山友
	12	初級登山教室座学(クライミング)				
4	16	初級登山教室実技(クライミング)	16	16	飯道山～大納言～阿星山	雪稜
	23	初級登山教室実技(金毘羅)	16	16	御池岳・T字尾根(交流山行)	岳友
			22～23	22～23	山菜取り(マキノキャンプ)	ちご
			29	29	春の公開野点山行 八ヶ峰	雪稜
	1-6	岩木山・鳥海山春スキー(スキーネット)				
			7	7	三上山 岩トレーニング	岳友
	10	初級登山教室座学(読図)				
	14	初級登山教室実技(読図)				
5	21	初級登山教室実技(読図)				
			21	21	三十三間山(交流山行)	岳友

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会
 シャク:シャクナゲ溯行クラブ、OT:山の会オフトレイル
 スキーネット;山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀 初級:初級登山教室



2023年4月号の原稿は、3月15日〆切です。
4月号は理事長、新年度挨拶、写真の担当は滋賀山友会です。
原稿の投稿先は 宮内 m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp
藤野 kawahaakebono@gmail.com
菅 nokomama.2016@gmail.com
宮内と両名にお願いします。

『県連ニュース2023年3月 NO.548号』

発行日：2023年2月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0047
大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F
大津市市民活動センタースモールオフィス内
メールボックス NO13

Email shigarosan@gmail.com
ゆうちょ銀行(店名418)
普通 0239956
<http://shigarosan.jimdo.com/>

発行責任者 宮内 眞子
編集委員 藤野 健太郎 菅 泉